

# 災害復興と建廃対策

## 本格化する撤去と処理②

岩手県は県民に対し、から22日まで「東日本  
て7月末を締め切りに、大震災による岩手県災  
災害復興基本計画案の 書廃棄物に係る処理計  
パブリックコメントを 画の設計業務及び施工  
募集する一方、6月15日 監理計画」を公募した。



広く散乱する災害廃棄物(仙台野)

し得る合理的な処理計  
画の設計と施工監理に  
ついて企画・提案する  
もの、としている。  
計画には既存の処理  
に業界内で噂されてい  
る沿岸部の災害廃棄物  
を内陸部の処理施設に  
搬送・処理する策や、  
沿岸部の各被災地に船  
で廃棄物を回収しに  
行き、広域処理で対処  
しようとの案が出てく  
る可能性がある。  
内陸移動は一次処理  
はセメント製造と並行  
して災害廃棄物を受け  
入れる運びとなった。  
現状の対象自治体は大  
船渡市と陸前高田市だ  
が、県内で発生した1  
04万5000ト(推  
定値)の可燃系災害廃  
棄物の主力受け皿とし  
て期待されているこの  
隣県や場合によっては  
情報もある。県内の実  
務者のなかには「セメ  
ント工場で年間約30万  
ト、3年間で全量処理  
してもらう構想も自治  
体から出ているらし  
い」と語る者もいる。  
今夏から今秋にかけ  
て、同県内で処理の具  
体案が出てくるのは、  
ほぼ間違いない。

# 岩手、災害廃計画を具体化へ

## 6月22日に公募締め切る

同業務は県内  
で発生した災害  
廃棄物の処理の  
うち、「解体・粗  
選別・撤去・仮  
置場・集積所・  
処理・運搬・処  
分」の工程につ  
いて、安全性、  
確実性、迅速性、  
効率性、経済性  
などを確保する  
とともに、不測  
の事態にも対応  
施設の活用や、新たに  
処理施設を設置する場  
合の設置時期や経費、  
集積場における火災な  
どの災害防止策と事故  
防止策、災害廃棄物に  
有害廃棄物の保管・処  
理方法を明記すること  
になっており、かなり  
具体的な処理方策が提  
案されることになる。  
利点がある一方、運搬  
する距離・コスト・量な  
どの課題を抱える。一  
方、海路を利用すると  
搬送効率や撤去・処理  
04万5000ト(推  
定値)の可燃系災害廃  
棄物の主力受け皿とし  
て期待されているこの  
隣県や場合によっては  
情報もある。県内の実  
務者のなかには「セメ  
ント工場で年間約30万  
ト、3年間で全量処理  
してもらう構想も自治  
体から出ているらし  
い」と語る者もいる。  
今夏から今秋にかけ  
て、同県内で処理の具  
体案が出てくるのは、  
ほぼ間違いない。

(つづく)